



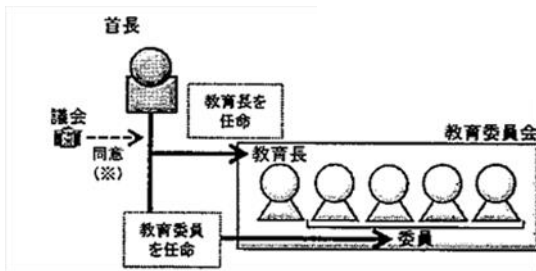
いよいよ新年度のスタートです。4月は、学校にとって土壌づくりの大切な時期、教職員皆が支え合い、居心地の良い職場で充実した教育を展開していきましょう。

市教育委員会では、今年度から、学校の魅力あふれる取組や関連情報を掲載した「市教委だより」を発行していきます。よろしくお願いいたします。

## 教育委員会制度が変わります！

本年4月1日から、新制度により、教育委員長と教育長を一本化した新「教育長」が設置されました。これにより、責任体制の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化等が期待されます。

教育長と教育委員は次のとおりです。



- <教育長> 奥 典道
- <教育委員> 山川肖美 (教育長職務代理者)
- 山下芳樹            中尾好美
- 澁谷憲和           山田恭子

## 「つながり支援プロジェクト」に取り組みます！



子ども同士のかかわりを意図的に設定し、認め合える集団づくりを通して、子どもの自己有用感(友だちから認められて嬉しいと感じる気持ち)を高めます。

この取組で、いじめ等の問題行動の未然防止を図り、子どもたちの学ぶ意欲を高めることをめざしています。

具体的には、授業の中での学び合いの場や、教え合いの場、学級の中で、自分の役割を果たして友達から頼りにされる場などを位置付けることが考えられます。

今後、各学校での特色ある取組を、この便りで紹介していきます。お楽しみに！

### (注) 自己有用感とは

他者とかかわること得られる「相手から自分が頼りにされている」「自分が行ったことを他者から認められている」という満足感  
(参考) 国立教育政策研究所「リーフ」

## 辞令交付式 (平成27年4月1日 はつかいち文化ホールさくらぴあにて)

4月1日付で135名の教職員の方々が、市内のそれぞれの学校に赴任されました。

教育長の訓示では、今年度の学校教育の施策をまとめた「夢・つながりプラン」に掲げている「自他のよさを認め合う人間関係づくり」「質の高い教育の創造」「教職員が育つ職場づくり」という3つの取組について述べるとともに、それらを実現していくために、教職員が生き生きと働くことのできる職場づくりの大切さについて触れました。



## 希望の春

先日、教育委員会宛に1通の手紙が届きました。

この手紙の内容については、4月1日の辞令交付式において、教育長が訓示の中で少し触れました。

手紙には、この「先生」が誠実で温かい指導を行われていたことが記されており、その先生の指導に対し、子どもも保護者も信頼を寄せるとともに、深い感謝の気持ちを抱いておられることが伝わってきます。

<手紙より（一部省略）>

早春の候、どうしても感謝の気持ちをお伝えしたくて筆を取らせて頂きました。

この度、□□中学校を卒業させて頂いた〇〇と申します。

4月当初、生きる希望さえ失いかけていた我が子が、☆☆先生と出会いました。

学校を休んだ日には、朝、迎えに来て下さったり、夜には、“明日は頑張れるか”とやさしく声をかけて下さったり・・・。

たったの一言を伝えるために、自宅まで出向いて下さいました。

教員は敵くらいに思っていた我が子が、「こんな先生初めて見た」と言った時、この先生に全てを託そうと思いました。

1年経った今、我が子が大きく成長したのを感じることができるのも、すべて☆☆先生のおかげです。

高校にも行きたくないと言っていた我が子が、いつしか“先生のためにもがんばる”に変わりました。この度、公立高校に合格できました。

「先生のおかげでここまで来れた」と我が子が言った時、ここまで変えて下さった先生に感謝でいっぱいになり、涙があふれました。

二年後に、下の子が入学します。

また中学で、☆☆先生にお世話になりたいと思います。

ありがとうございました。



## 小中一貫教育推進校 大野学園 開校式に向けて



4月8日（水）に、市内で3校目となる、一体型の小中一貫教育を推進する大野学園の開校式が行われます。

これまで築いてきた大野西小学校、大野中学校のすばらしい実践と伝統を礎に、未来を担うにふさわしい、たくましく、そして心やさしい児童生徒の育成をめざし、創意と工夫に満ちた教育実践が積み重ねられていくことを期待しています。